

令和7（2025）年度

学生募集要項

《帰国生入試》



目 次

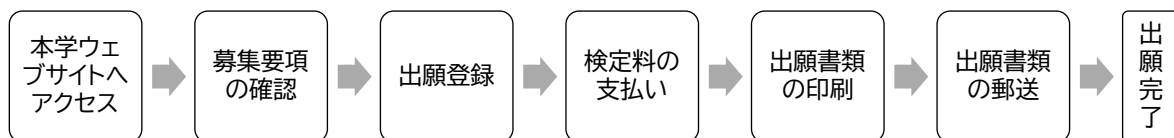
I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	帰国生入試	12
1	募集人員	12
2	出願資格	12
3	出願手続	13
4	選抜方法	16
5	合格者発表	22
6	個人別入試成績の開示	22
III	入学手続、初年度納付金等	23
1	入学手続	23
2	初年度納付金	24
3	その他	25
IV	試験会場案内	26

<重要なお知らせ>

感染症等の影響により、入試日程や実施方法等が変更される可能性があります。
出願の際には、本学ウェブサイトに掲載する最新の情報をご確認ください。

<出願方法（インターネット出願）>

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。
インターネット出願を利用することにより、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。
なお、調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご注意ください。



<帰国生入試に係る日程の概要>※詳細は、本要項内で必ず確認してください。

事 項	日 程
障害等のある入学志願者の 事前相談	令和6年10月15日（火）まで ※受験上及び修学上の配慮を必要とする者のみ
インターネット出願登録 及び検定料の支払期間	令和6年10月29日（火）～令和6年11月7日（木）
出願書類提出期間	令和6年11月1日（金）～令和6年11月7日（木）
試 験 日	令和6年11月30日（土）、12月1日（日）
合 格 者 発 表	令和6年12月13日（金）
入 学 手 続 期 間	令和6年12月23日（月）～令和6年12月25日（水）

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

岡山県立大学の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

本学は、人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校等において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

【入学者選抜の基本方針】

本学は、入学者に求める能力・素養を有しかつ、多様な学生を受け入れるため、以下の選抜の方針を基本として、教育課程ごとに定められた入学者受入れの方針に従い、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜などの入学者選抜の機会を設けます。

以上のほか、課程により帰国生入試及び私費外国人留学生入試を実施し、多様な人材の受入れを行います。

なお、各教育課程の入学者選抜における選抜方法及び評価基準については、以上の選抜の方針をふまえた上で、課程ごとの入学者受入れの方針に示されます。

保健福祉学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

保健福祉学部では、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題に対して科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

保健福祉学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、多様

な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

看護学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門的知識と技術を活かして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々の生涯を通じた健康を支援し、地域社会、国際社会に貢献できる看護専門職の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

看護学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、看護の多様な側面を学ぶ上で必要な理数系及び文科系科目の基礎学力をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、人々の健康に関心をもち主体性をもって多様な人々と協働する態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な文章表現力

数学：「数学Ⅰ・数学A」における基礎的内容の理解と論理的思考力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

理科：理科における自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力

社会：地理歴史・公民における人間を取り巻く社会の仕組みと生活との関連を理解するための基礎的な知識

情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

入学選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

栄養学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

栄養学科は、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力をもって、食と健康の相互関係を科学的に理解し、多様な人々と協働して栄養学を人の健康維持・増進、病気の予防・治療へと応用するとともに未知なる事象の解明に向けて主体的に研究する姿勢を身に付け、岡山県から広く地域社会、国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

栄養学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、幅広い科目における基礎学力、特に栄養学の理解に必要となる「化学」や「生物」などの自然科学の基礎をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理、化学、生物の中から2科目以上の基本的内容の理解と、化学もしくは生物に関する応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学における基礎的な内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と英語の学習習慣

国語：文章読解力と、論理的思考に基づいて行った自らの判断を正しく伝えるための基礎的な文章表現力

社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解

情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等（面接（理科試問を含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

面接では書類審査（調査書等）による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。理科の試問（化学基礎・生物基礎）では、化学基礎と生物基礎において基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

現代福祉学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって地域社会や国際社会に能動的、創造的に貢献できるソーシャルワーカー等の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

現代福祉学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」「英語」「地理歴史・公民」などの基礎をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力
- 社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解と論理的思考力
- 英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
- 数学：基礎的な内容の理解と論理的思考力
- 理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然を総合的に見る能力
- 情報：情報 I における内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

子ども学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

子ども学科は、少子社会の到来の中、すべての子どもたちの健全育成と子育てしやすい社会環境づくりが重要視されている現代社会において、子どもの育ちと支援にかかわる理論を理解し、子どもの学びと育ちを支えることのできる実践力と生涯学び探求し続ける姿勢を身につけた保育・幼児教育分野で活躍できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

子ども学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」や「地理歴史・公民」などの社会科学の基礎をしっかりと身につけておいてください。これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力、英語を含むコミュニケーション能力を磨いてください。それと共に、学校行事や課外活動、地域活動への参加を通し、様々な体験を重ねるなかで、子どもの立場から考え、実践するために必要となる豊かな感性、倫理観、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度や表現力などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力
- 社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解と論理的思考力
- 英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
- 数学：基礎的な内容の理解と論理的思考力
- 理科：基礎的な内容の理解と論理的思考力
- 情報：情報 I における内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

情報工学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。

情報工学部は、情報通信工学科、情報システム工学科、人間情報工学科の3学科で構成され、情報工学の知識を基盤に、電子・通信工学、機械工学、人間工学等の関連工学分野の知識を複合的に修得し、豊かな教養と人間性に基づいてそれらを総合的に活用し、グローバルな視点と主体性・協調性をもって人間及び環境との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報工学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

情報通信工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術（ICT）を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、ICTの利用者視点を理解するとともに、豊かな教養と人間性に基づくグローバルな視点から主体性・協調性をもって社会に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報通信工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の

理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表現力

情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

情報システム工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結び付けるインタフェース工学などの学問を修得し、領域横断型のエンジニアとしてのセンスと主体性・協調性をもって、グローバル社会において豊かな教養と人間性に基づき、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報システム工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実

験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力

国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表現力

情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

人間情報工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

人間情報工学科は、人間の生活環境を支える情報工学と、人間の能力や特性をモデル化する生体機能学、情報技術をもつづくりに活かした機器設計学の3つの学問領域に関する深い知識及び技術の活用と、豊かな教養と人間性に基づき、グローバルな視点から多種多量な情報が組み込まれた人間との高い親和性をもつ新たなソフトウェア・ハードウェアの設計・開発ができる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

人間情報工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力

国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表

現力

情報：情報 I における内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

デザイン学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

デザイン学部では、学部の基礎的な共通教育に加えて、各分野の専門教育により、人間・社会・自然の調和を目指したデザインを創造できる能力を身に付け、課題を主体的に発見・解決し、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

デザイン学部では、教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身に付けていることを求めます。さらに、デザインを学ぶ上で基礎となる知識・技能と、これらに基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域や社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いてください。

そして、大学で身につけた知識と技能を活かして、岡山県をはじめとした地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲をもつ人を求めます。

ビジュアルデザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、グラフィック・映像各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展に、主体的に寄与するグラフィックデザイナー・映像クリエイターの育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

ビジュアルデザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、ビジュアルデザイン各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・提案を進めるために必要な思考力と構成力・表現力を求めます。また、自然・文化・社会のモノ・コトを観察するとともに、その関係を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を

見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力

理科・地理歴史・公民：基礎的な学習内容の理解

情報：問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力（知識及び技能）

美術：工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、実技（想定描写を含む鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

工芸工業デザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域・国際社会で活躍でき、また社会の持続的発展に主体性を持って貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

工芸工業デザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、工芸工業デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、デザインを進めるために必要な造形力・表現力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力

理科・地理歴史・公民：基礎的な学習内容の理解

情報：問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力（知識及び技能）

美術：工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査（調査書、推薦書、志望理由書等）により評価します。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

建築学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる幅広い知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に、主体的に寄与する建築家や建築分野の専門家の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

建築学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、コミュニケーション能力、数理的・論理的な思考力と表現力、自然・文化・社会についての基礎的な知識を求めます。

また、建築デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・設計を進めるために必要な、基礎的な立体・空間把握力、現実の建築や空間・都市を持続的に観察し、人間の行動や心理を考察する力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：コミュニケーション、文章読解、文章表現に必要な英語力の長期的な学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力と、論理的に解を導き出す思考力

理科・地理歴史・公民：基礎的な学習内容の理解

情報：問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力（知識及び技能）

美術：立体・空間の構成力と表現力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査（調査書、推薦書、志望理由書等）により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、建築・都市・空間等に関する観察力や人間の行動・心理に関する考察力、自らの考え・理解を正しく伝えるための文章構成・表現力・思考力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資

格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

II 帰国生入試

1 募集人員

(人)

学 部	学 科	入学定員	左のうち 帰国生入試 募集人員	備 考
保健福祉学部	看護学科	40	若干人	
	栄養学科	40	若干人	
	現代福祉学科	35	若干人	
	子ども学科	25	若干人	
情報工学部	情報通信工学科	50	若干人	
	情報システム工学科	50	若干人	
	人間情報工学科	40	若干人	
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	30	若干人	
	工芸工業デザイン学科	30	若干人	
	建築学科	30	若干人	

(注1) 学生募集は、この帰国生入試のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入試及び一般選抜（看護学科・栄養学科・子ども学科では前期日程及び後期日程、情報工学部では前期日程及び公立大学中期日程、現代福祉学科・デザイン学部では前期日程）により行います。

(注2) 帰国生入試の募集人員の「若干人」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

- (注3) ① 保健福祉学部看護学科では、卒業時に看護師国家試験受験資格が得られます。そのうち4人程度が助産師課程を履修することができ、所定の科目を履修すれば卒業時に助産師国家試験受験資格も得られます。ただし、助産師は、法律により女子に限られています。また、保健師国家試験受験資格は、大学院において取得することができます。
- ② 保健福祉学部現代福祉学科では、社会福祉学コース（定員上限無し）か、介護福祉マネジメント学コース（定員上限10人）から一つ、1年次の後期に希望するコースを選択してもらいます。社会福祉学コースでは、所定の科目を履修することにより、卒業時に社会福祉士国家試験受験資格が得られます。さらに、社会福祉士国家試験受験資格と並行して、10人を上限に、所定の科目を履修することにより、卒業時に精神保健福祉士国家試験受験資格が得られます。これとは別に、社会福祉士国家試験受験資格と並行して、10人を上限に、所定の科目を履修することにより、日本ソーシャルワーク教育学校連盟により、スクールソーシャルワーカーの認定資格が得られます（ただし、社会福祉士国家試験に合格する必要があります）。介護福祉マネジメント学コースでは、所定の科目を履修することにより、卒業時に介護福祉士国家試験受験資格が得られます。
- ③ 保健福祉学部子ども学科では、所定の科目を履修することにより、卒業時に保育士資格（保育士養成課程）及び幼稚園教諭一種免許状（幼稚園教諭教職課程）が得られます。

2 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国内の永住許可を得ている者のうち、外国の学校教育を受けた者で、次の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者(注)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（学校教育法施行規則第150条第1号）

上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

- (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和5年又は令和6年に授与された者
- (3) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和5年又は令和6年に得た者
- (4) 外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和5年又は令和6年に得た者
- (5) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を令和5年又は令和6年に得た者
- (6) 外国において、欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパン・バカロレア資格を令和5年又は令和6年に得た者
- (7) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた外国に設置された教育施設の12年の課程を令和5年又は令和6年に修了した者

(注) 大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により通算教育年数が12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含みます。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録、検定料支払い及び出願書類の郵送）のみとします。本学ウェブサイトに掲載している「インターネット出願ガイド」をよく読んで出願手続を行ってください。

インターネットによる出願登録及び検定料支払いが完了したら、(4)の出願書類等を一括して角型2号（縦332mm×横240mm）の封筒に入れ、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。

ただし、(2)の出願期間最終日に限り、直接持参を認めます。（受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。）

なお、出願時に海外に在住する者は、本学から合格通知書等を送付するための「日本国内の連絡先」を設定してください。（日本国内の連絡先がない場合は、この限りではありません。）

(2) 出願期間（各学部共通）

インターネット出願登録及び検定料の支払期間	令和6年10月29日(火)から令和6年11月7日(木) 16:59まで
出願書類提出期間	令和6年11月1日(金)から令和6年11月7日(木)まで【必着】

(注1) 11月7日(木)17:00になるとインターネット出願登録及び検定料の支払はできません。

(注2) 11月8日(金)以降に到着したものは、11月6日(水)までの発信局消印のある「簡易

書留速達郵便」に限り有効とします。

(注3) 出願書類の到着確認の問い合わせについては、本学では回答できません。配達状況は、日本郵政のウェブサイト等の郵便追跡サービスの利用又は郵便局へのお問い合わせによりご確認ください。

(3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木1 1 1 番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 出願書類等 ※志願者本人が作成する書類については、全て日本語とすること。

出願に必要な書類等	作成方法
志願票（原票） （全学部）	インターネットでの出願登録及び検定料の支払いが完了したら、「インターネット出願ガイド」を参照のうえ印刷し、提出してください。 出願時に海外に在住する者は、住所は設定された「日本国内の連絡先」を記入してください。
調査書 （保健福祉学部及びデザイン学部のみ）	最終学校の学校長が、出願年度の4月1日以降に作成し、 厳封 したもの。 ※和文又は英文以外の言語で記載された調査書については、公的機関（大使館・領事館等）又は最終学校等で証明を受けた訳文を添付してください。 ※原則として最終学校で 厳封 （中の書類が見えないよう封がされ、糊付け部分に学校印やエンボス、またはサイン等がある状態）されたものを提出してください（公的機関等での翻訳等のやむを得ない事情を除く）。 ※最終学校から調査書が発行されない者は、提出不要とする。 ただし、最終学校が作成した調査書が発行されないことを証明する文書を提出すること。（様式は任意） ※なお、最終学校から「調査書が発行されないことを証明する文書」が発行されない場合は、志願者本人が身上記録を作成して提出すること。様式は情報工学部の身上記録を準用するものとする。
修了証明書又は 修了見込証明書 及び成績証明書 （全学部） （和文・英文以外の場合 は訳文を添付）	次の①～⑦の区分により必要書類を提出してください。 なお、提出書類が和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください。（原本も必ず提出してください。） ① 出願資格の(1)に該当する者は、最終学校の修了証明書又は修了見込証明書、及び最終学校の成績証明書 ② 出願資格の(2)に該当する者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書 ③ 出願資格の(3)に該当する者は、アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書 ④ 出願資格の(4)に該当する者は、バカロレア資格（フランス共和国）取得者に授与されるバカロレア資格証書の写し及びバカロレア資格試験成績証明書 ⑤ 出願資格の(5)に該当する者は、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル試験又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル試験の成績証明書 ⑥ 出願資格の(6)に該当する者は、欧州バカロレア資格証書の写し及び欧州バカロレア資格試験成績証明書

出願に必要な書類等	作成方法
	<p>⑦ 出願資格の(7)に該当する者は、在籍する又は在籍していた教育施設の修了証明書又は修了見込証明書及び成績証明書</p> <p>なお、①～⑦のいずれの場合にも、日本の高等学校等に在学したことがある者は、その学校長の作成した文部科学省所定の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p>
推薦書 (保健福祉学部及びデザイン学部のみ)	<p>任意様式で、最終学校の学校長が作成したものを提出してください。</p> <p>なお、推薦書に表彰状等の参考資料は添付しないでください。</p> <p>※和文又は英文以外の言語で記載された推薦書については、公的機関(大使館・領事館等)又は最終学校等で証明を受けた訳文を添付してください。</p> <p>※原則として最終学校で厳封(中の書類が見えないよう封がされ、糊付け部分に学校印やエンボス、またはサイン等がある状態)されたものを提出してください(公的機関等での翻訳等のやむを得ない事情を除く)。</p> <p><形式について></p> <ul style="list-style-type: none"> 形式はA4サイズまたはレターサイズ・片面1枚程度です。1枚を超えた場合でも、受付は可能ですが、「片面1枚程度」という指示に極力準じた分量としてください。 本文はタイプでも手書きでもかまいません。ただし、最終学校の学校名及び手書きで署名された学校長の英字氏名を必ず推薦状内に含めてください。
志望理由書 (全学部)	<p>本学所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項を漏れなく記入してください。(A4片面印刷)</p>
身上記録 (情報工学部のみ)	<p>本学所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項を漏れなく記入してください。</p>
国籍を証明する書類	<p>住民票(市区町村長発行のもの。コピー不可)又はパスポート(名前、国籍、顔写真が分かるページ)のコピー。</p> <p>なお、住民票は、日本国籍の場合は本籍地の記載が、日本国籍以外の場合は国籍と在留資格の記載が必要です。</p> <p>※「住民票」を市区町村の窓口での交付を受ける場合は、個人番号(マイナンバー)は表示しないようにしてください。</p> <p>※パスポートのコピーを提出する場合は、試験当日に原本を持参し、試験実施本部で確認を受けてください。試験当日に確認を受けていない場合には、試験成績が無効となります。</p>

(5) 検定料

① 検定料

17,000円

② 支払方法

インターネット出願の手順に従い、所定の支払い方法から検定料の支払いを行ってください。支払い方法は以下のとおりです。なお、各種支払いにかかる手数料は、入学志願者の負担となります。

ア コンビニエンスストア払い

イ クレジットカード決済

ウ 銀行ATM(ペイジー支払い対応銀行) / ネットバンキングでの支払い

③ 納付期間

令和6年10月29日（火）から令和6年11月7日（木）16:59まで

④ 検定料の返還

納付された検定料は、次のアからウまでの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は検定料相当額とします。検定料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は本学教学課入試班へ連絡し、令和6年12月27日（金）までに必要な手続きをとってください。イの場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

ア 検定料を納付したが、出願しなかった場合

イ 検定料を納付したが、出願が受理されなかった場合

ウ 検定料を誤って二重に納付した場合

⑤ 特例措置

東日本大震災又は平成30年7月豪雨の被災者に対する検定料全額免除の特例措置があります。検定料減免を希望する場合は、**出願登録前**に必ず本学教学課入試班へ連絡し、出願期間前に必要な書類を提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(6) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、令和6年10月15日（火）までに、本学教学課入試班へ連絡し、相談してください。

なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願登録しないでください。相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、**できるだけ早い時期に相談**してください。

申請にあたっては、「岡山県立大学入学者選抜試験の出願に関する協議書」を作成のうえ、必要書類を添付し、本学教学課入試班へ郵送により提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(7) 出願手続上の注意事項

- ① 出願期間内に出願に必要な書類を提出し、本学で書類に不備がないことが確認されることにより、出願受付完了となります。出願に必要な書類等の全てがそろっていない場合は受付できませんので十分確認してください。
- ② 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後に出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。
- ④ 受付をした出願書類は返還しません。
- ⑤ 出願時に海外に在住する者で「日本国内の連絡先」を設定した者への書類は、当該連絡先に送付します。

4 選抜方法

(1) 試験日

<p>・令和6年11月30日（土）又は令和6年12月1日（日）のうちいずれか指定する1日 もしくは ・令和6年11月30日（土）及び令和6年12月1日（日）の両日 ※両日の場合は、個別学力検査を2日間に分けて実施予定です。</p>

(注) 出願者数が確定した後に、各学科の試験日を決定します。

決定した試験日は、受験票印刷が可能になった後に、受験票で確認してください。

(2) 時間割 (志願者数により変更する場合があります。)

①保健福祉学部

<看護学科、現代福祉学科、子ども学科> 1日目 (注1)

時間割	10:00	12:00	13:00	17:00
	面接 (注2)		面接 (注2)	
		終了者控室で待機		

<看護学科、現代福祉学科、子ども学科> 2日目 (注1)

時間割	10:00	12:00
	小論文	

<栄養学科>

時間割	10:00	12:00	13:00	17:00
	面接 (注2)		面接 (注2)	
		終了者控室で待機		

②情報工学部

時間割	10:00	12:00	13:00	17:00
	面接 (注2)		面接 (注2)	
		終了者控室で待機		

③デザイン学部

<ビジュアルデザイン学科、工芸工業デザイン学科>

時間割	10:00	13:00	14:00	17:00
	実技		面接	

<建築学科>

時間割	10:00	12:00	13:00	17:00
	小論文		面接	

(注1) 看護学科、現代福祉学科、子ども学科の個別学力検査は、面接と小論文を2日間に分けて実施予定です。(1日目に面接、2日目に小論文)

(注2) 保健福祉学部および情報工学部の面接は、受験者を午前の部(10:00~12:00)、午後の部(13:00~17:00)の2組に分けて実施する予定です。面接が午後の部となる受験者には、試験開始時刻が、「13:00」と表示された受験票が印刷されます。

(注3) 試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

(注4) 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合は、試験開始時間を繰り下げることがあります。本学教学課入試班へ連絡し、試験会場に向かってください。

(注5) 小論文および実技の試験開始後は、終了するまで試験室から退室できません。面接については、試験開始後40分経過しなければ、終了者控室から退室できません。ただし、保健福祉学部及び情報工学部の面接が午前の部の受験者は、面接終了後、午後の部の受験者の集合時刻(12:40)までは、当日指定する終了者控室で待機してください。

なお、午後の部の受験者の集合状況によっては最大で 13:30 まで終了者控室で待機していただきますので、必要に応じて昼食を持参し、終了者控室の自席で食事をとってください。

(注 6) 看護学科・現代福祉学科・子ども学科及び建築学科では小論文及び面接の、ビジュアルデザイン学科及び工芸工業デザイン学科では実技及び面接の、いずれか一方でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。

(注 7) 出願者数により時間割を変更する場合があります。確定した時間割は、受験票の印刷が可能になった旨のメール及び本学ウェブサイトで周知しますので必ずご確認ください。

(3) 選抜方法・配点

学 部	学 科	個別学力検査等	配 点	配点合計	備考
保健福祉 学 部	看護学科	小論文	200	300	試験時間：120分
		個人面接（日本語）及び書類審査	100		
	栄養学科	個人面接（日本語）※及び書類審査 ※試問（理科）を含む	150	150	試問（理科）は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍にして行います。
	現代福祉学科 子ども学科	小論文 個人面接（日本語）及び書類審査	200 200	400	試験時間：120分
情報工 学 部	情報通信工学科 情報システム 工学科 人間情報工学科	個人面接（日本語）※及び書類審査 ※試問（数学、物理及び英語）を含む	200	200	
デザイン 学 部	ビジュアル デザイン学科	実技（想定描写を含む鉛筆デッサン）	200	400	試験時間：180分 B3ケントボード使用
		個人面接（日本語）及び書類審査	200		
	工芸工業 デザイン学科	実技（鉛筆デッサン）	100	200	試験時間：180分 B3ケントボード使用
		個人面接（日本語）及び書類審査	100		
	建築学科	小論文	200	400	試験時間：120分
		個人面接（日本語）及び書類審査	200		

(注 1) 令和 7 年度大学入学共通テストは課しません。

(注 2) 小論文及び実技は日本語で出題します。

(4) 評価基準

各学科の評価基準は、Ⅰの入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)をご参照ください。

(5) 試験会場

岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学

(6) 受験上の注意事項

- ① 受験者は、次の集合時刻までに指定された試験室(面接にあつては面接控室)に入室し、着席してください。試験室及び面接控室は、試験会場の掲示により指定します。

学 部	学 科	実技検査等	集合時刻	試験開始時刻	
保 健 福 祉 学 部	看護学科 現代福祉学科 子ども学科	面 接	午前の部	9時40分	10時00分
			午後の部	12時40分	13時00分
		小論文	9時40分	10時00分	
	栄養学科	面 接	午前の部	9時40分	10時00分
			午後の部	12時40分	13時00分
	情 報 工 部 情 学	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	面 接	午前の部	9時40分
午後の部				12時40分	13時00分
デ ザ イ ン 学 部	ビジュアルデザイン学科	実 技 (想定描写を含む 鉛筆デッサン)	9時40分	10時00分	
		面 接	13時40分	14時00分	
	工芸工業デザイン学科	実 技 (鉛筆デッサン)	9時40分	10時00分	
		面 接	13時40分	14時00分	
	建築学科	小論文	9時40分	10時00分	
		面 接	12時40分	13時00分	

(注) 志願者数により、変更する場合があります。

② 試験当日の持参品について

ア 試験当日の持参品は次のとおりです。

学 部	学 科	持 参 物
保健福祉 学 部	看護学科 現代福祉学科 子ども学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム
	栄養学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）
情 報 工 学 部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）
デザイン 学 部	ビジュアルデザイン学科 工芸工業デザイン学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆、消しゴム(ねりゴム可) ※羽ぼうきの使用も認めます。イーゼル、カルトンは使用できません。
	建築学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム
出願時にパスポートのコピーを提出した者のみ		パスポートの原本 ※試験当日、試験実施本部で原本の確認を受けること。 試験当日に確認を受けていない場合には、試験成績が無効となります。

イ 受験票について、**試験日の5日前**までに印刷が可能になった旨のお知らせを本学ウェブサイトへ掲載するとともに、同じ内容をインターネット出願システムに登録されたメールアドレスにも送信しますので、各自ダウンロードし、印刷のうえ持参してください。（A4用紙、カラー、ページの拡大・縮小はしない。）

また、メールが受信できていなくても、本学ウェブサイトにも上記のお知らせが掲載されていれば、受験票の印刷は可能です。

なお、**試験日の5日前を過ぎても**受験票の印刷ができない場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。

ウ 受験票は、試験実施時に、指示に従って試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。

当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

エ 上記アのほかに試験時間中に机の上に置けるものは、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く。）、時計（時刻表示機能のみで、秒針音のしないもの）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。ただし、実技の道具として使用することは認めません。）、目薬です。

なお、デザイン学部ビジュアルデザイン学科及び工芸工業デザイン学科の実技のみ筆箱を机の上に置くことを認めます。

これ以外のものを置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

オ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、さっぽつ等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室（面接にあつ

ては面接控室)に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等にしまい身に付けないでください。

なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。

カ 試験監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。

キ 試験室（面接にあっては面接控室）における受験者間の物品の貸借は一切認めません。

ク 面接控室及び終了者控室では、待機中の読書（教科書やメモも可とする。ただし、電子書籍を除く。）や水分補給を認めます。また、保健福祉学部及び情報工学部の午前の部の受験者の終了者控室では昼食を取ることも認めます。

なお、待機中に本や水筒等をかばん等から取り出すときは、必ず試験監督者の許可を受けてください。

ケ 必要に応じて昼食を持参してください。試験当日、**学生会館内の食堂は利用できません。**

コ 試験会場における忘れ物について、試験実施日から一定の期間は本学で保管します。一定の期間を過ぎた後は廃棄しますので、あらかじめご了承ください。

③ 不正行為について

ア 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、全ての試験成績が無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

なお、次のことをすると不正行為となります。

- ・ 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ・ カンニングをすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ・ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答始め。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたこと。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を使用すること。
- ・ 試験時間中に、定規、コンパス、さっぴつ等の補助具を使用すること。
- ・ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。

上記ア以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記アと同様です。

- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や定規、コンパス、さっぴつ等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

- ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

④ その他

ア 試験当日は受験者以外の大学構内への入場を認めておりません。ただし、自家用車による送迎については、一時的に構内への乗り入れを認めますが、大学正門から入構し、乗降後は速やかに退出してください。

イ IIの3の(6)の事前相談により付添が認められた場合に限り、付添人（保護者等）控室を設置します。（利用場所等の詳細は、別途通知します。）

ウ 事前に試験会場の下見をする場合は、11月29日（金）の14時から16時までの間に、試験会場に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室（面接にあつては面接控室）及び試験実施本部を確かめておいてください。ただし、試験会場の建物内には入ってはいけません。下見の時間帯は、試験会場の準備の都合上、変更することがあります。

エ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、入学志願者への緊急連絡が必要となった場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。

オ その他連絡の必要が生じた場合は、インターネット出願システムに登録された連絡先に電子メール又は電話で通知します。

5 合格者発表

(1) 発表日時

令和6年12月13日（金）10時

(2) 発表方法

本学ウェブサイト合格者の受験番号を掲載します。（掲示による発表はしません。）

可否結果については、インターネット出願サイト「Post@net ポータルサイト（以下、Post@netという。）」の「可否照会」で確認し、合格通知書及び入学手続書類等をダウンロードしてください。（合格通知書及び入学手続書類等の発送は行いません。）

電報、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。

（注）試験当日、試験会場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、その責任を負うことはできません。

(3) 合格者に係る留意事項

帰国生入試に係る入学予定者に対して、スムーズに大学教育に移行できることを目的に、本学では入学前の準備教育を行います。入学までの期間、各学部・学科の特性に応じて体験講義、グループ討議あるいは課題提出などを行っています。

6 個人別入試成績の開示

帰国生入試における個人成績は、令和7年4月中旬からPost@netで開示する予定です。なお、開示には本学受験番号が必要です。

Ⅲ 入学手続、初年度納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和6年12月23日（月）～令和6年12月25日（水）（必着）

(2) 入学手続方法

入学手続の詳細については、Post@net よりダウンロードした入学書類をご確認ください。
書類等は、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。ただし、入学手続期間最終日に限り、直接持参を認めます。（受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。
また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。）

(3) 提出書類等

入学手続に要する書類等	作成方法等
① 本学の受験票	
② 宣誓書	本学所定の様式を使用し、必要事項を記入のうえ、必ず押印してください。
③ 住民票記載事項証明書（証明願）	Ⅲの2の(1)の①の「岡山県内の者」に該当する者のみ必要です。 本学所定の様式（市町村の様式ではありません。）を使用し、居住地の市区町村の関係窓口にて提出して証明を受けてください。詳細は、合格通知書類をご確認ください。
④ 入学料	Ⅲの2の(1)の額の入学料を納付する必要があります。本学所定の様式を使用し、必要事項を記入の上、納付の手続きを行ってください。
⑤ 写真1枚 （学生証作成用）	縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、カラー）の裏面に学科名、氏名を記入してください。
⑥ 卒業証明書等	出身学校の卒業証明書又は修了証明書（卒業見込み又は修了見込みで受験した者のみ） ※入学手続期間内に提出できない場合は、令和7年3月31日（月）までに提出してください。

（注）本学所定の様式は、Post@net の合否照会からダウンロードしてください。

(4) 入学手続先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 一つの国公立大学・学部に入學手続を完了した者は、それ以降これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。
- ② 入学手続は、所定の期日までに完了してください。期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ③ 必要な書類の全てがそろっていないものは受付できませんので、書類等の提出の際には十分に確認してください。

- ④ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ⑤ 受付をした入学手続書類は返還しません。

2 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、次の額の入学料を納付する必要があります。なお、国の高等教育の修学支援新制度の申請をした者については、入学料納付前に本学教学課入試班にお問い合わせください。

- ① 岡山県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注1) 「岡山県内の者」は、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- (1) 令和6年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者
- (2) 令和6年4月1日から配偶者又は1親等の親族が引き続き岡山県内に住所を有している者

(注2) 「岡山県内の者」は、居住地の市区町村長の証明を受けた「住民票記載事項証明書」により判断します。

なお、(注1)の(2)に該当する者及び令和6年4月2日以降に県内で移動した者は、追加で提出していただく書類がありますので、本学教学課入試班へお問い合わせください。

(注3) 入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。

(注4) 納付された入学料は、次の(1)から(3)までの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は入学料相当額とします。入学料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は令和7年3月19日(水)までに本学教学課入試班へ連絡し、必要な手続(入学料納付証明書が必要です。)をとってください。(2)の場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

- (1) 入学料を納付したが、入学手続をしなかった場合
- (2) 入学料を納付したが、入学手続が完了しなかった場合
- (3) 入学料の額を誤って納付した場合

(2) 授業料

- ① 金額(年額) 535,800円
- ② 納付方法 入学後、前期、後期の2回に分けて納付していただきます。
- ③ 納付時期 前期 7月末、後期 11月末

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただきますので、入学時に必要な手続をお願いします。納付された授業料は返還しません。

なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

(3) 保険料、後援会費、同窓会費

- ① 金額

所属	保険料※	後援会費	同窓会費
看護学科	5,370円(4年分)	64,000円 入会金20,000円 +会費(4年分)44,000円	10,000円
保健福祉学部 (看護学科以外)	4,730円(4年分)		
情報工学部	4,660円(4年分)		
デザイン学部	4,660円(4年分)		

※学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険の保険料((公財)日本国際教育支援協会が主催)

- ② 納付方法 入学手続時に、金融機関から納付してください。納付方法については、別途お知らせします。ただし、入学を辞退した場合は返還します。

3 その他

(1) 奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に対し、独立行政法人日本学生支援機構をはじめとする様々な奨学金制度があります。

奨学金制度の詳細は、各団体のウェブサイト等で確認してください。

(2) 授業料の減免制度

経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等に対し、授業料の全額又は一定額を免除する制度があります。国の高等教育の修学支援新制度の対象となる者については、入学後に本学教学課学生支援班にお問い合わせください。

(3) アパート等

本学に学生寮はありません。アパート等については、本学教学課学生支援班で情報を提供しますが、アパート等の斡旋は行っておりません。

(4) 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜等において取得する個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び本学の規程に基づき取り扱うとともに、次の業務で利用します。

- ① 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究、入試情報の提供（合格者の最高点及び最低点（総合得点）の公表、実技の模範解答の公表（本学ウェブサイトへの掲載、オープンキャンパス等入試説明会での閲覧、過去の問題を掲載する書籍の出版社への写しの交付）等）に関する業務を行うために利用します。ただし、調査・研究結果の発表及び入試情報の提供に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ② 本学の入学手続を完了した者の個人情報は、入学前における準備教育、入学後における教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）及び授業料等の徴収に関する業務を行うために利用します。
- ③ 本学合格者の個人情報は、本学の関係団体である同窓会及び後援会から本学合格者に連絡を行うために利用します。
- ④ 上記のうち一部の業務を本学から業者に委託することがあります。業務委託に当たり、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

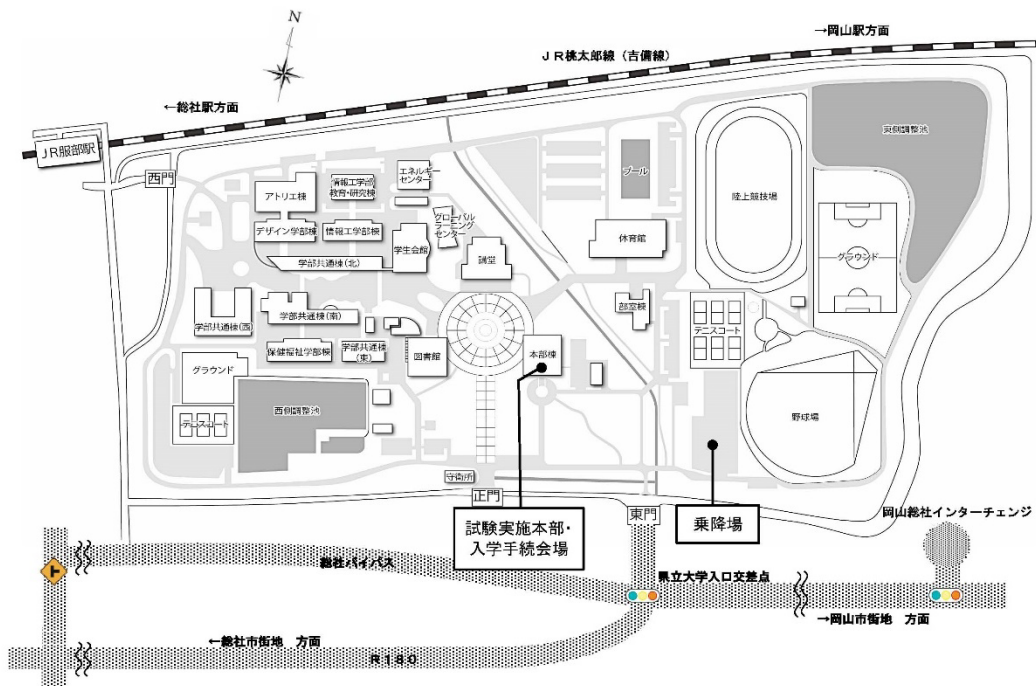
IV 試験会場案内



(交通案内)

ももたろう はっとり そうじゃ
 JR 桃太郎線 (吉備線)・服部駅 (JR 岡山駅から約 30 分、JR 総社駅から約 8 分) 下車、徒歩 5 分
 岡山自動車道・岡山総社 IC から約 2.5 km
 岡山市街から約 18 km (国道 180 号経由)、倉敷市街から約 12 km (国道 429 号経由)

試験会場配置図



※大学の敷地内は、全面禁煙です。

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp/>

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp